

長野養護学校

令和5年度 学校評価アンケート結果

学校評価アンケートへのご協力

ありがとうございました。

今年度は87%のご家庭から回答をいただきました。絆メールを介してグーグルフォームでのご回答をいただきました。

長野養護学校グランドデザインにそって学校教育について評価をいただきました。

以下の4つの重点にそって結果をお伝えします。

- I「子どもの人権を大切にした教育実践を進める学校」
- II「保護者と対話、思いや願いを受け留める学校」
- III「連携－関係機関・地域」
- IV「学校安全」

* アンケート結果の％は少数第一位を四捨五入で計算しています。

子どもの人権を大切にした教育実践

1 学校教育目標・学校像 楽しい学校生活であるか

○ AB評価 83% △ C評価 13% × DE評価 4%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	48%	35%	13%	3%	1%
職員	17%	74%	9%	0%	0%
地域 諸機関	55%	35%	10%	0%	0%

1 学校教育目標・学校像 楽しい学校生活であるか

「毎日楽しかったと帰宅する。安心して通える」、「学校をととても楽しみにしている」、「長養に通うようになり、とても生き生きと生活している姿が嬉しい」等のご意見を多くいただきました。

- 新型コロナウイルス感染症が5類の扱いになり、感染症対策を講じながらも様々な制限のない中、学校生活が過ごせるようになりました。4年ぶりに全校で集まる行事も行われ徐々に以前の活気が戻ってきました。コロナ禍で培った工夫も活かしながら、子どもたちが、「今日はこれをやりたい」「明日も楽しみ」、と思えるような、生活づくり、授業づくりを今後も目指していきたいと思えます。

子どもの人権を大切にした教育

1 学校教育目標・学校像 選んでよかったか・相応しいか

○ AB評価 90% △ C評価 9% × DE評価 1%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	58%	32%	9%	1%	0%
職員	12%	66%	20%	1%	1%
地域 諸機関	70%	20%	10%	0%	0%

1 学校教育目標・学校像

選んでよかったか・相応しいか

「学校生活を通して、学習、自立を支援していただき大変ありがたい」、「学校で伸び伸び生活し、暮らしに必要な事も教えていただける」「子どもの強みを伸ばしていただける環境である」等の意見がありました。

- 多くのご家庭や関係機関から「長養を選んでよかった」と高評価をいただきました。今後も「選んでよかった」と子どもや保護者の皆さんにも思っていただける学校を目指していきたいと思います。

子どもの人権を大切にした教育

2 人権を尊重した接し方・学校づくり 人権に配慮した、指導・支援

○ AB評価 93% △ C評価 6% × DE評価 1%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	45%	48%	6%	1%	0%
職員	12%	70%	17%	1%	0%
地域 諸機関	70%	20%	5%	5%	0%

子どもの人権を大切にした教育

2 人権を尊重した接し方・学校づくり いじめや体罰がない学校環境

○ AB評価 92% △ C評価 7% × DE評価 1%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	52%	40%	7%	0%	1%
職員	22%	66%	12%	0%	0%
地域 諸機関	70%	25%	5%	0%	0%

2 人権を尊重した接し方・学校づくり

人権に配慮した、指導・支援、いじめや体罰がない学校環境

「一人一人を大切に思ってくださる様子が伝わってくる」、「寄り添った支援をしていただいている」等の意見がありました。

- 「わたし(あなた)はわたし(あなた)のままでいい」を大切にした支援・学校づくりをしています。
- 職員一人一人が体罰をしないために、日頃の言動の振り返りを実施しています。また、人権に関する研修を全職員で行っています。保護者や地域の方にも研修内容をお知らせするなど引き続き、人権感覚の向上に努めていきます。

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

3 個に応じた指導 個別の指導計画に 保護者の願いが反映されているか

○ AB評価 93% △ C評価 5% × DE評価 2%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	50%	43%	5%	1%	1%
職員	4%	68%	23%	5%	0%
地域 諸機関	70%	30%	0%	0%	0%

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

3 個に応じた指導 個別の指導計画にそって 授業が実践されているか

○ AB評価 88% △ C評価 11% × DE評価 1%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	38%	50%	11%	1%	0%
職員	4%	67%	24%	4%	1%
地域 諸機関	70%	25%	5%	0%	0%

3 個に応じた指導

個別の指導計画に保護者の願いが反映されているか
個別の指導計画にそって授業が実践されているか

「できることが徐々に増えて成長を感じる」「子どもにとって何が必要か、一緒に考えてくださり、ありがたい」などのご意見がありました。一方で、個別の学習課題の内容の充実や家庭との情報共有、個別の指導計画の形式についてご意見をいただきました。

- 子どもの日々の育ちの姿を具体的にお伝えしながら保護者の願いが反映されるよう連携に取り組んでいきたいと思ひます。
- 昨年度より全県統一の個別の指導計画の形式になりました。「個別の指導計画」を日々の実践で活かし、また成果や課題を懇談会や支援会議等でお伝えできるようにしていきます。

3 個に応じた指導

ICT機器を活用し、個に応じた学びの最適化を進めている。

○ AB評価 77% △ C評価 17% × DE評価 6%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	31%	46%	17%	5%	1%
職員	2%	66%	24%	6%	2%

3 個に応じた指導

ICT機器を活用し、個に応じた学びの最適化を進めている。

＊ICT(Information and Communication Technology)情報通信技術

「iPadでの歯磨き指導のおかげで、歯科治療の困難な子の虫歯予防となりありがたい」との意見がありました。一方で、ICT機器使用に対しての依存や健康への不安の声も寄せられました。

- 昨年度より追加した評価項目です。昨年度に比べ約10%評価が上がりました。
- 本校では一人一台のタブレットを活用し、子どもの発達段階を考慮しながら、子どもたちの学びがさらに深まるよう職員研修を積み重ねていくとともに、ICTを活用した学びのねらい、具体的な支援場面や方法について丁寧な説明を心掛けていきます。

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

4 チーム支援

職員の子どもも理解・特性に応じた支援

○ AB評価 90% △ C評価 10% × DE評価 0%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	49%	41%	10%	0%	0%
職員	6%	76%	16%	2%	0%
地域 諸機関	75%	15%	0%	10%	0%

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

4 チーム支援 職員の連携

○ AB評価 91% △ C評価 7% × DE評価 2%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	49%	42%	7%	2%	0%
職員	19%	69%	9%	3%	0%
地域 諸機関	80%	15%	0%	5%	0%

4 チーム支援 職員の子どもも理解・特性に応じた支援、連携

「子どもに寄り添った支援をしてもらえる」、「本人のことをよく考えて教材を工夫してもらえる」、「どの先生も子どもの特性を理解し、受け入れて対応していただき安心」などの意見をいただきました。一方で、職員間の連携について、情報共有が十分にされていないことや、連携不足からの支援方法の違いについてご意見をいただきました。

- 一人一人の子どもの理解、特性に応じた支援について引き続き研修を重ねていきます。
- サポートチームをはじめ学校全体で連携し、『チーム長養』でより良い支援について考えていきます。
- 部、学年、学級での連絡を密にして支援にあたっていきます。そのための時間確保や職員内での連絡伝達方法を再確認していきます。

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

5 保護者との連携

保護者と職員との連携 安心感・信頼感があるか

○ AB評価 88% △ C評価 9% × DE評価 3%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	48%	40%	9%	2%	1%
職員	7%	72%	20%	1%	0%
地域 諸機関	60%	30%	5%	5%	0%

保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

5 保護者との連携

保護者の思いに寄り添えて 誠意をもって応えているか

○ AB評価 90% △ C評価 8% × DE評価 2%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	46%	44%	8%	1%	1%
職員	13%	76%	10%	1%	0%
地域 諸機関	65%	30%	5%	0%	0%

5 保護者との連携

保護者の思いに寄り添えて 誠意をもって応えているか

「学校との連絡がよくとれている」、「気持ちに寄り添って一緒に考えてもらえる」「子どもの変化や不安など、すぐに相談でき心強い」などの意見がありました。一方で、年度途中での担任変更についての不安や複数担任との連携の難しさについてもご意見をいただきました。

- 今年度は学校祭等の行事や参観日も予定通り実施され、保護者の皆様と直接お会いする機会や日々の学びの様子を見ていただく機会をもつことができました。お便りや連絡帳、また保護者の方への丁寧な連絡を通して、子どもの学びや育ちが共有できるようしていきます。

関係機関や地域と連携・特別支援学校の役割

6 地域との連携 センター的機能の発揮

福祉・医療・行政との連携・ニーズに応じた計画的な支援

○ AB評価 86% △ C評価 12% × DE評価 2%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	39%	47%	12%	1%	1%
職員	10%	72%	18%	0%	0%
地域 諸機関	75%	20%	5%	0%	0%

6 地域との連携 センターの機能の発揮 福祉・医療・行政との連携・ニーズに応じた計画的な支援

「支援会議を通して子どもの特性や課題が共有できる」「支援会議があり各場所で統一した支援ができている」、外部関係機関からは、「学校参観を通して学校生活を知ることができよかった」などの意見をいただきました。

- 関係機関からも、情報共有でき、支援方法等も参考になると、高評価をいただきました。今後も関係者がつながり、子どもを中心に据えて支援の輪が広がるように学校の役割を果たしていきます。

関係機関や地域と連携・特別支援学校の役割

6 地域との連携 センターの機能的発揮

学校からのお便りやホームページ等で、学校の様子が伝わっている。

○ AB評価 92% △ C評価 6% × DE評価 2%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	40%	52%	6%	1%	1%
職員	13%	72%	14%	1%	0%

6 地域との連携 センターの機能の発揮

学校からのお便りやホームページ等で、学校の様子が伝わっている。

「写真付きのお便りで子ども達が元気に楽しく学んでいる様子がよくわかる」とのご意見がありました。

- 個人情報に留意しながら、学校生活の様子や学びの姿が伝わるよう学級便りや学校だより等を発信していきます。
- 三輪校舎に「長野地区特別支援教育相談センター」が設置され、幼保小中や高校へ訪問し相談支援を行っています。
- 卒業生や地域の皆さん、応援してくださる方々に長野養護学校の「今」が伝わるようホームページの活用に使っていきます。

学校安全

7 学校安全

災害時・緊急時の安全な支援を想定しながら安全防災教育に取り組んでいる。

○ AB評価 92% △ C評価 8% × DE評価 0%

	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
保護者	39%	53%	8%	0%	0%
職員	7%	66%	25%	2%	0%

7 学校安全

災害時・緊急時の安全な支援を想定しながら安全防災教育に取り組んでいる。

「状況に応じて絆メールやお便りで知らせてもらえ助かる」との意見の他、施設・設備老朽化に対する安全性への不安の声も寄せられました。

- 本校、分教室ともに定期的に避難訓練を実施し、安全に避難できるように練習を積み重ねています。また、本校では、引き渡し訓練の実施や、防災倉庫の整備を行いました。保護者の皆様にもご協力をいただきありがとうございました。学校防災アドバイザーからいただいたアドバイスを活かして、様々な場面を想定して訓練や体制作りをしていきます。校舎の老朽化への不安、学校の周辺環境等、学校だけでは解決できない問題も多いですが、引き続き県への要望をあげていきます。

学校評価のまとめと来年度への展望

- 1 学校教育目標・学校像
⇒ 目指す姿「自分から 自分で めいっぱい」の具現化
- 2 人権を尊重した教育
⇒ 「わたし(あなた)はわたし(あなた)のままでいい」の徹底
- 3 個に応じた指導
⇒ 「個別の指導計画」を活用した一人一人の児童生徒にとっての個別最適な学び
- 4 チーム支援
⇒ 専門性を発揮し児童生徒の願いに寄り添うための支援体制再構築
- 5 保護者との連携
⇒ 日常的な情報と目指す姿の共有(個別の指導計画の活用・修正)
- 6 地域との連携
⇒ ねらいを明確にし、社会資源を活用した支援会議開催と運営
長養の「今」が伝わるホームページ活用